

国立天文台特別公開
『ゆにたま2019』の報告

中国科学院雲南天文台



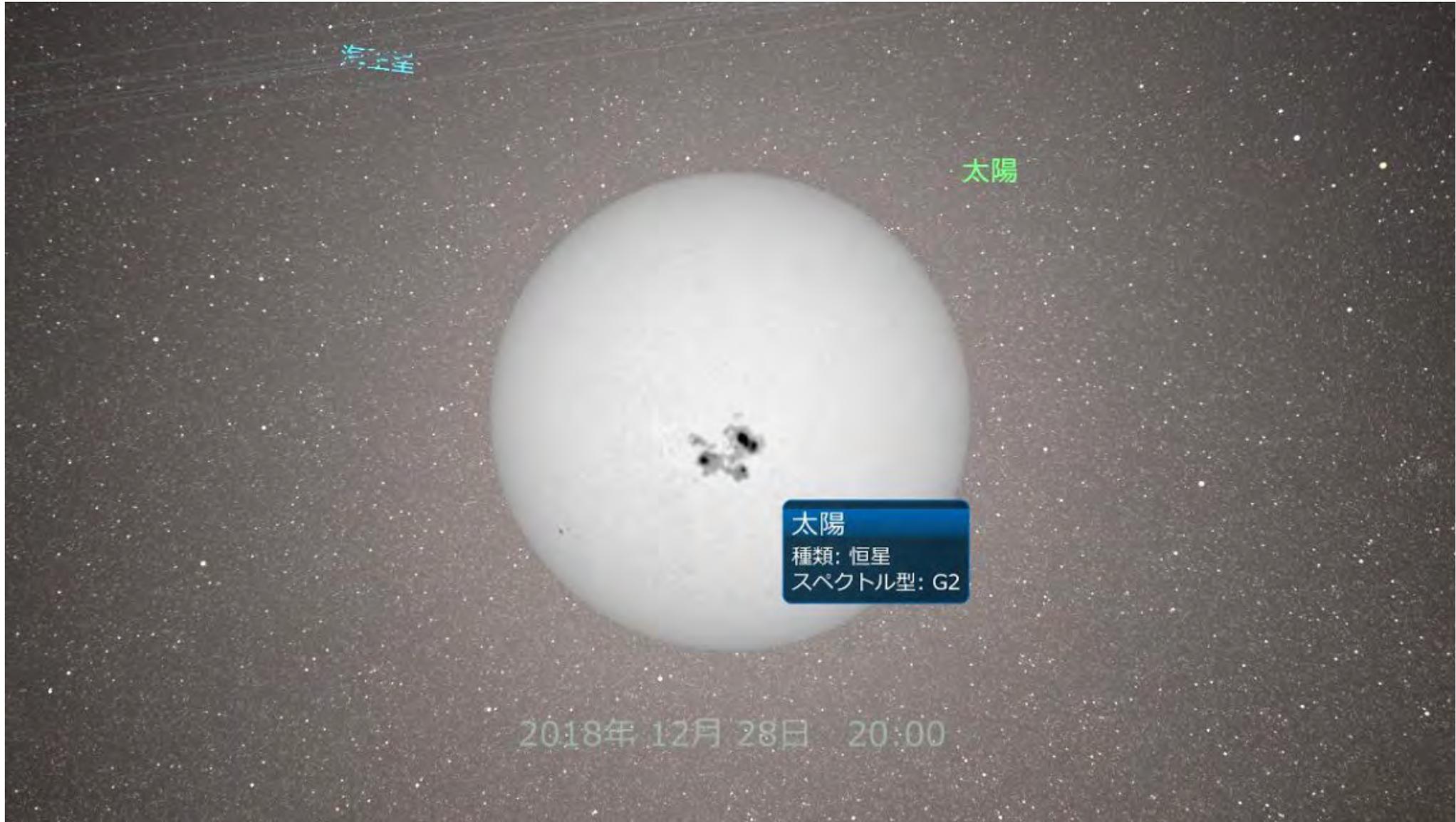
中国科学院雲南天文台



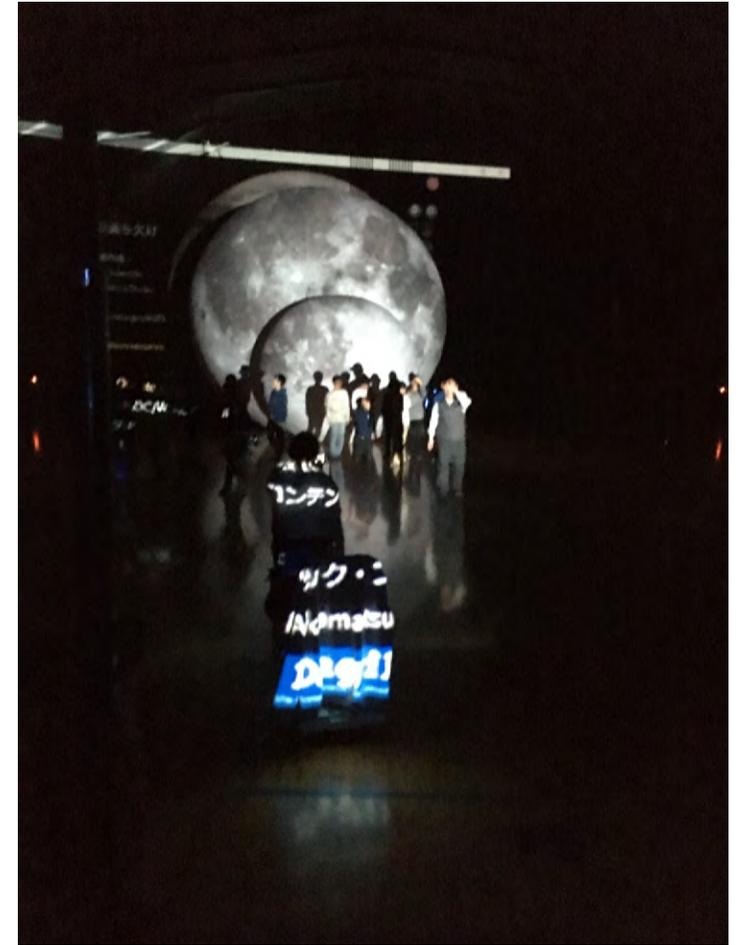
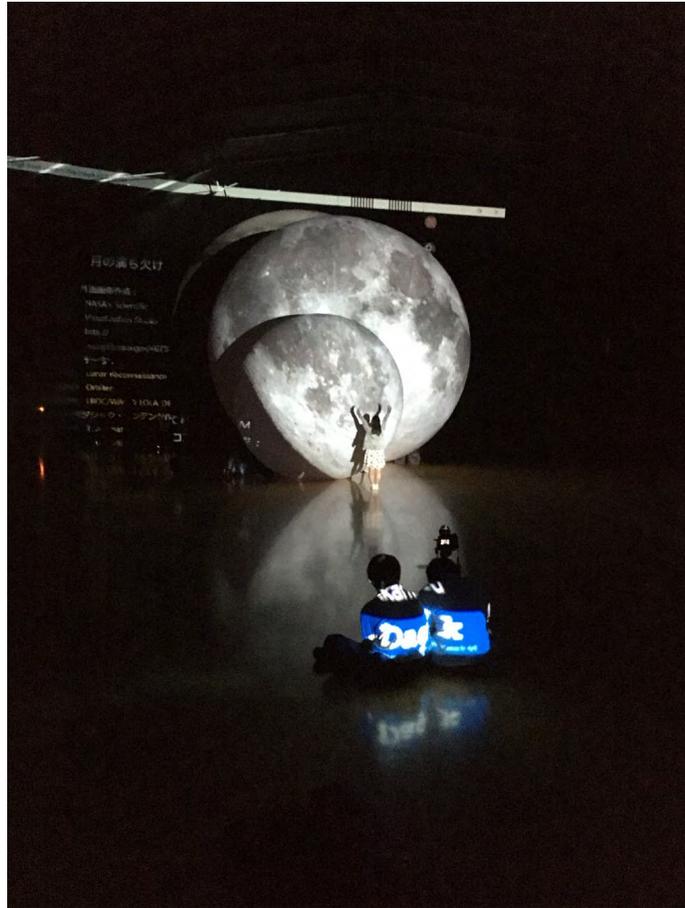
ピンホール



Mitakaへの応用 (texturesへ入れると)



8mバルーン体験会(2019.11.9) @中央大学附属中学校・高等学校





ふれあい天文学

- ダジック・アースの球に映したい人もいる
※フレア博士はいつも行っている
- 今年度3校（それぞれ児童100名程度）
 - 武蔵野市立関前南小学校
 - 立教女学院小学校
 - 三鷹第一小学校





公開日@太陽フレア望遠鏡



「ゆにたま2019」

@国立天文台特別公開「三鷹・星と宇宙の日」10/26

- 「ゆにたま」とは「ユニバースを映す球」
略して「ゆにたま」
- 4mバルーン(NICTより借用)を利用して、夕方日没後に行った。
- 今年は明星大学、京都大学、茨城大学、武蔵野大学の慣れたメンバーで構成した特別チームで設営、撤収を行った。



























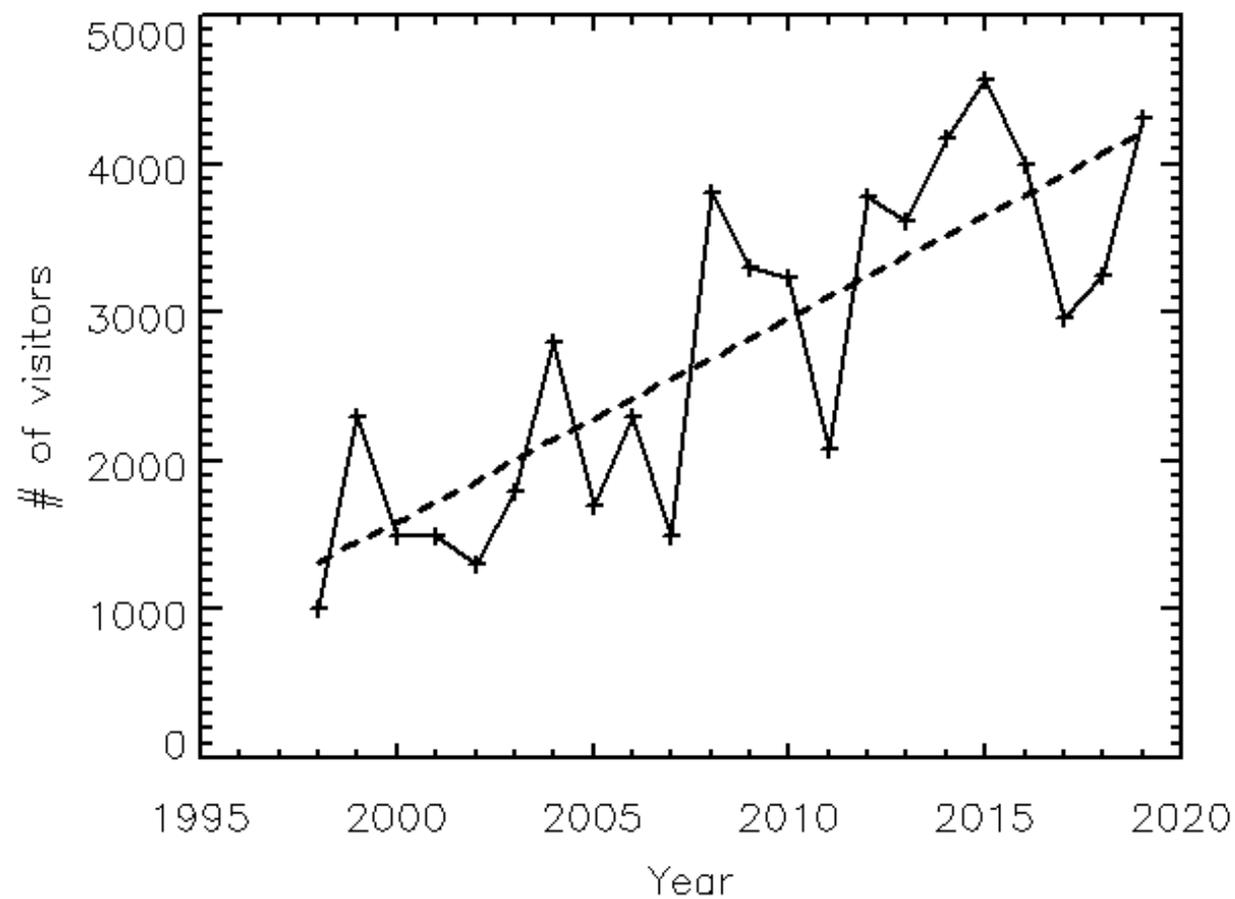


国立天文台
4次元デジタル宇宙シアター

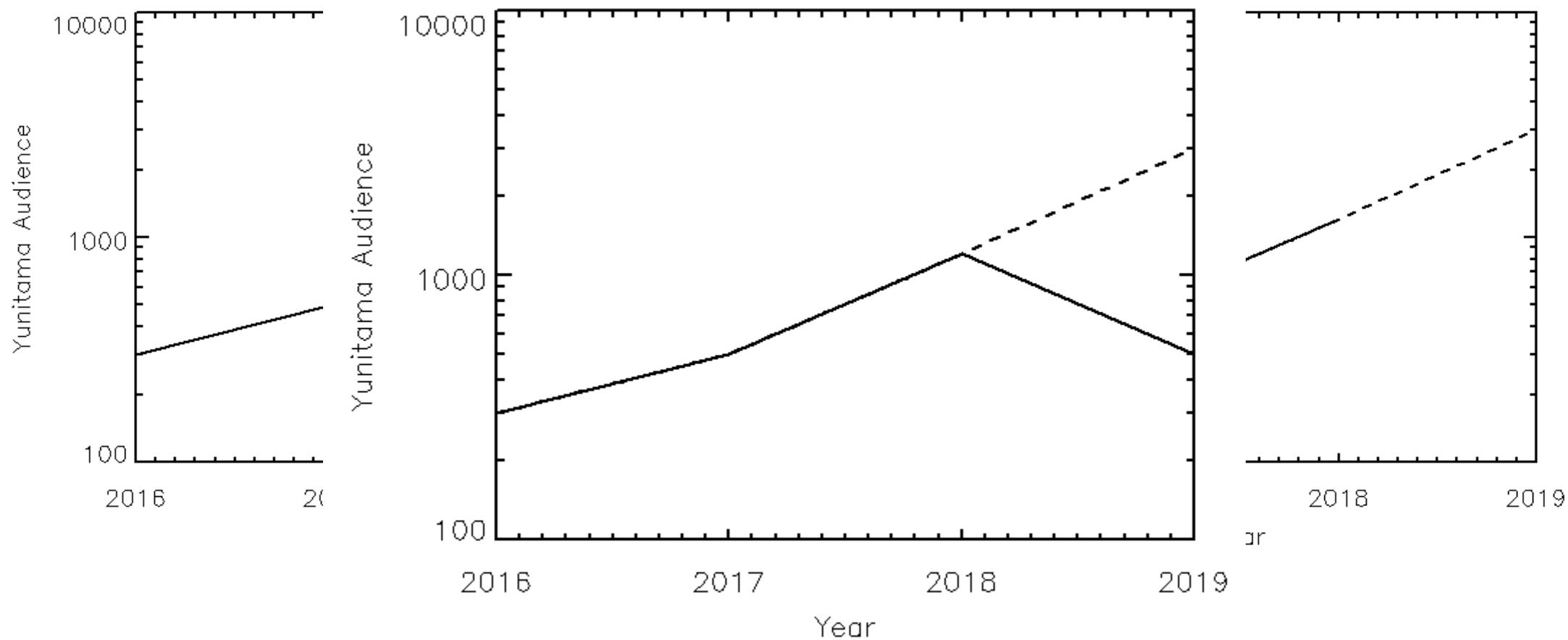
国立天文台

国立天文台
4次元デジタル宇宙シアター

国立天文台特別公開来場者



「ゆにたま」のお客さん



まとめ

- 参加者は 500 名程度（フレア博士からの数字）とのこと。
- グラウンド内野に未だ雨水が残っていたので、外野を観客席にし、開発実験棟に面した側に 4 m 球を置き、実施。
- 慣れたメンバーが多く、設営から撤収までスムーズに行えた。
- 今後も続けていくならマニュアルやチェックリストを作るべき。天候、安全対策、迷子、落とし物など。
- 人数をカウントする用の工夫が必要だった。
- この企画は集客があり、公開日のクライマックスにふさわしい企画だと思います。